



Outcomes of prosthetic valve replacement in women of child-bearing age

著者名	片岡 豪
発行年	2017-10-20
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032182

主論文の要旨

Outcomes of prosthetic valve replacement in women of child-bearing age

(出産適齢期女性の人工弁置換術の成績)

東京女子医科大学東医療センター心臓血管外科

(指導：中野清治教授)

片岡 豪

Surgery Today online publication doi:10.1007/s00595-016-1445-y.

(平成 28 年 11 月 12 日発行) に掲載

【要 旨】

妊娠経過の成績において、生体弁植え込み後の女性は、機械弁植え込み後の女性より良好であるとされているが、生体弁植え込み後の若年女性においては、再手術は必須であり、安全に出産できるかについても、明確ではない。人工弁置換術を行った 40 歳以下の若年女性 6 人を対象とし、人工弁置換術後成績や妊娠・出産成績などから、生体弁植え込みの有効性や問題点を検討した。

安全な妊娠・出産を考慮し、6 人中 4 人が、人工弁植え込み時に生体弁が選択された。Konno 手術や二弁置換術が必要であり、次回手術のリスクも高くなると考えられた 2 人は、機械弁が選択された。生体弁植え込み後の 4 人中 3 人が、問題なく、妊娠・出産が可能であった。

生体弁植え込み後の若年女性は、複数回の心臓手術が必要であるため、人工弁植え込み時に、妊娠・出産のみを考慮した生体弁の選択は必ずしも理想的であるといえない。出産適齢期の女性に対する人工弁選択時には、複数回の心臓手術のリスク評価や、十分な妊娠・出産に関するカウンセリング、長期計画が必要とされる。